

神奈川県立自然保護センター野外施設でのトンボ観察記録 (2001年)

土方一久*

はじめに

2001年5月4日から11月23日の間、8回のトンボの観察を行い観察日毎に記録した。

観察日の気温は手持ちの簡易温度計による測定であり参考として付記した。

施設内に杭番が設置される以前からの観察記録との整合をとるため、池名、湿地名等は独自に付けた名称を一部使用している。植生等の変化により現況にそぐわない名称となっている場所がある。

また、トンボ以外の動植物や施設の状況についても記した。

5月4日(金) 11時~15時30分 晴 21

今年初めての観察であったが、既に多数のトンボが活発に飛翔していた。

ヒガシカワトンボ

Mnais pruinosa costalis Selys

多くはないが、例年見られる場所で数頭が見られた。「春の池」北側(Y3)水路沿いの草葉に停止している1(橙色型)、「ミクリの湿地」付近(Y6)の「たたら沢」沿いで1(橙色型)、「ヨシの湿地」付近(Y16)の「たたら沢」沿いのウツギの葉上に停止している1(透明型)、1が見られた。又、「観察の池」西縁(Y13)の水路状になった場所で細い朽ちた茎に単独で産卵するのも見られた。

ヤマサナエ

Asiagomphus melaenops (Selys)

「春の池」のコウホネの葉に停止や飛翔する1、「ミクリの湿地」付近の「たたら沢」沢床で羽化完了した2頭、羽化殻に定位し、ほぼ翅が伸びきり腹端から時々水分を排出している羽化中の1頭が見られた。

クロスジギンヤンマ

Anax nigrofasciatus nigrofasciatus Oguma

葉草園(M4)のコンクリート池で水面に浮遊している羽化殻1、コウホネの葉に残った羽化殻1を採取した。成虫は中央の湿地(Y14)、「水鳥の池A」(Y18)を飛翔しているのが見られた。

シオヤトンボ

Orthetrum japonicum japonicum (Uhler)

「ほたるの里」(Y29、Y31)で木道上に停止している成熟した個体、若い個体が20数頭見られた。北側の湿地(Y32)では羽化直後の翅が光り、ゆっくりと飛翔する1頭が見られた。「春の池」(Y2)では活発に飛翔する6が、また北側縁での警護を伴って打水産卵する1が見られた。産卵時間は数分であった。

植物

・ハルジオンが各所で多数咲いていた。カキドオシはほぼ終わり。バイカウツギ満開。

・ヤマブキソウ 最盛期は過ぎたが昆虫の森奥の群生場所で多数咲いていた。

野鳥

・ウグイス、ガビチョウ、カワセミ

6月3日(日) 12時30分~16時10分 快晴 24

前回から1箇月が空いてしまった。春のトンボは終息に近い。一日中快晴で少し暑さを感じるが湿度が低く蒸し暑さは無かった。

ヒガシカワトンボ

Mnais pruinosa costalis Selys

「ほたるの里」(Y33)西奥の「獣の森」の北側小沢の流水際の植物の葉上に停止し、占有行動する3(橙色型)が数メートルの間隔で見られた。「ガマの湿地」(Y25)東側の「たたら沢」流水際で2頭(は透明型)が近くで停止し、暫く後にがを捕捉し葉上で交尾を開始、数分後に分離した。その数分後、再び交

*神奈川県自然環境保全センターボランティア

尾を開始し再び分離したが、は流水上を翔び去り見失った。産卵は確認出来なかった。

ヤマサナエ

Asiagomphus melaenops (Selys)

最盛期は過ぎ個体数は多くはなかった。「コウホネの池」(Y12)付近で2頭、「春の池」(Y3)で1頭、「ほたるの里」南側(Y35)で1頭が見られた。

ヤブヤンマ

Polycanthagyna melanictera (Selys)

薬草園のコンクリート池(M4)でコウホネの繁茂した縁で、コウホネの葉で羽化を終了し羽化殻に静止している1が見られた。同池でコウホネの葉に残っていた羽化殻3個を採取した。16時頃ケヤキの広場の上空を飛翔旋回し摂食行動する1頭が見られた。

クロスジギンヤンマ

Anax nigrofasciatus nigrofasciatus Oguma

「アサザの池」(Y8)でミクリの繁茂した場所を探索飛翔する2が見られた。又、「水鳥の池A」(Y17)でもミクリの繁茂際を探索飛翔する1が見られた。

シオカラトンボ

Orthetrum albistyrum speciosum (Uhler)

多いと言うほどではないが、個体数は一番多く施設内各所の池で占有行動するが見られた。「水鳥の池F」(Y25)で池縁に向かって打水産卵する1が見られが直近で警護していた。産卵時間は短く南側の枯れヨシに翔び去った。

シオヤトンボ

Orthetrum japonicum japonicum (Uhler)

ほぼ終息のようであるが「水鳥の池E」(Y25)のヨシに停止・飛翔する1が見られた。

オオシオカラトンボ

Orthetrum triangulare melania (Selys)

個体数は多くはない。「アサザの池」(Y8)中の水面から出た枯れ枝で占有行動する1、「ガマの湿地」(Y26)園路沿いの樹上の葉上に停止し占有、摂食行動する1が見られた。

野鳥

・ウグイス、ガビチョウ、ホトトギス

7月8日(日) 13時20分～16時30分 快晴 27

雨が余り降らず既に梅雨明けしたような空梅雨で気温も上がっている。トンボ相も夏枯れ状態で種は少ないが、施設内の各所でオオシオカラトンボが目立った。施設内の様子はほとんど抜根や刈り払いなどの整備がされず植物類は延びほうだいであり、開放水面も少なくなっている。

オオアオイトトンボ

Lestes temporalis Selys

薬草園のコンクリート池(M4)でスイレンの葉裏に残った羽化殻4個を採取した。

コオニヤンマ

Sieboldius albardae Selys

「ほたるの里」入り口付近(Y29)の木道に飛来して停止し直に翔び去った1頭が見られた。

オニヤンマ

Anotogaster sieboldii (Selys)

飛翔している個体数は少ない。発生個体数は少ないようである。「ほたるの里」(Y31)を飛翔する1頭が見られた。「ほたるの里」中央(Y31)のハンノキの2.5m程の高所の枝に羽化殻が残っていた。流水からも2m以上は離れた場所のハンノキである。羽化のため5m程は移動している。

クロスジギンヤンマ

Anax nigrofasciatus nigrofasciatus Oguma

「水鳥の池B」(Y21)で水面上を探索飛翔する1が見られ、オオシオカラトンボに近付くと追われていた。

シオカラトンボ

Orthetrum albistyrum speciosum (Uhler)

個体数は多くはない。施設内の各池で挺水植物や池周囲の植物に停止し占有行動するのが見られた。

オオシオカラトンボ

Orthetrum triangulare melania (Selys)

施設内では現在一番個体数が多く見られ、各池や湿地で占有行動や摂食行動するのが頻繁に見られた。「ガマの湿地」(Y26)ではミゾソバの繁茂した場所で交

尾及び産卵が見られた。産卵はミゾソバの繁茂した中の狭い水溜状の湿地で翅をぶつけながら単独産卵していた。 が直近で警護していた。

植物

・チダケサシ、キツリフネ(僅かに残りあり)

8月9日(木) 13時00分～16時30分 曇 27

一ヶ月ぶりの観察となった。先週の土曜日以来気温が30度を下回り曇りがちの天候が続いている。今日は少し気温は上がったが、ほとんど曇りの一日であった。全体的に個体数は多くはないが、種数は多く見られ、秋のトンボも発生しはじめている。'97年以来目撃できなかったクロイトトンボが見られたが、観察の行き届かない場所で僅かながら棲息しているようである。

クロイトトンボ

Cercion calamorum calamorum (Ris)

「水鳥の池D」(Y23)北東隅のスイレンの葉端に停止している成熟した 1が見られた。何とか棲息しているようである。

コオニヤンマ

Sieboldius albardae Selys

「水鳥の池D」(Y23)スイレンの繁茂した中央付近で飛翔・停止する1頭が見られた。

オニヤンマ

Anotogaster sieboldii (Selys)

「ミクリの湿地」西側の水路上を飛翔し、そのまま西方へ翔び去った1頭が見られた。

ヤブヤンマ

Polycanthagyna melanictera (Selys)

葉草園(M4)のコンクリート池縁で朽ちた木に停止している 1が見られた。弱っているのか飛翔力が弱かった。

ギンヤンマ

Anax parthenope julius Brauer

「アサザの池」(Y8)でミクリの繁茂した縁で探索飛翔を繰り返す 1が見られた。

クロスジギンヤンマ

Anax nigrofasciatus nigrofasciatus Oguma

「水鳥の池D」(Y23)で探索飛翔する 1が見られた。少ない。

シオカラトンボ

Orthetrum albistylum speciosum (Uhler)

それほど個体数は多くはないが施設内の池や湿地で占有行動する が見られた。「アサザの池」(Y8)では産卵が見られた。

オオシオカラトンボ

Orthetrum triangulare melania (Selys)

個体数は少なくなったが、「春の池」(Y2)「アサザの池」(Y8)「水鳥の池E」(Y25)「ガマの湿地」(Y26)などで占有行動する が見られた。

ナツアカネ

Sympetrum darwinianum (Selys)

葉草園(M6)のトクサなどの先端に停止する 5、湿地フィールドで3～4頭が見られた。

ミヤマアカネ

Sympetrum pedemontanum elatum (Selys)

湿地施設への中央入り口東側(M2,3)の草地で草葉に停止する若い個体が9頭見られた。湿地フィールドでは中央の草地で1頭見られた。

ウスバキトンボ

Pantala flavescens (Fabricius)

管理棟近くの草地(K13)で数頭飛翔しているのが見られた。

コヤマトンボかオオヤマトンボか確認出来なかったが「水鳥の池D」(Y23)で旋回飛翔するのが見られた。

その他

施設に業者が入って「ほたるの里」(Y28)水路の開放、「ガマの湿地」(Y26)の水路開放(ミゾソバ抜根)、「水鳥の池F」(Y25の池)全面抜根による開放の作業をしていた。中央から東側の池や湿地に3～5cm程度のアメリカザリガニが多数。今年は増えて多い。「ガマの湿地」(Y26)にはガマは数本生えているのみで減少している。ほとんどがミゾソバに覆われた。

セミ

・ヒグラシ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ

草木

・キツリフネ、キツネノカミソリ、キンミズヒキ

8月26日(日) 12時40分～16時30分 快晴～晴 29

施設内の気温は29と大変に暑かった。「水鳥の池F」が開放水面が出来て水量も少なく大変良い環境となりシオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ギンヤンマが多数活発に行動していた。特にシオカラトンボの個体数は大変多く乱舞状態であった。抜根されていた場所: 「水鳥の池F」(Y25)、「中央湿地」(Y14)、「春の池」(Y2)、「ガマの湿地」(Y26)

クロイトトンボ

Cercion calamorum calamorum (Ris)

前回と同じ「水鳥の池D」(Y23の池)北東隅のスイレンの葉上に停止、飛翔をする1が見られた。

オニヤンマ

Anotogaster sieboldii (Selys)

「ほたるの里」中央(Y31)の人工水路上を占有飛翔する1が見られ、同種の他の1が入り追放行動が見られた。又、「昆虫の森」上り口付近(Y19)の「たたら沢」の流水上を飛翔する1が見られた。

ギンヤンマ

Anax parthenope julius Brauer

多くの個体が見られた。「アサザの池」(Y8)、「中央湿地」(Y14)、「春の池」(Y2)、「水鳥の池B,D」(Y21,23)でミクリヤフトイの繁茂した場所を探索飛翔するが見られた。又、8月初旬に全面抜根した「水鳥の池F」(Y25)で10cm程のセリやイネ科の植物に連結して産卵する3組が見られ、その上を別の1が探索飛翔するのが見られた。産卵中に何頭ものシオカラトンボに体当たりされる場面が見られた。又、産卵途中で南側の5m程の高所の木の枝に定位して交尾するのも見られた。この池で大変活発であった。抜根して開放水面が出来て良い環境となった。

シオカラトンボ

Orthetrum albistylum speciosum (Uhler)

施設各所の湿地や池全体で大変多数の個体が見られた。特に「水鳥の池F」(Y25)では水面近くを40～50頭の1が乱舞するように占有行動しているのが見られ

た。中央の杭の近くでは1の警護を伴って活発に産卵する1が見られた。池底が露出している場所が多く、これらの場所でも産卵が見られた。

オオシオカラトンボ

Orthetrum triangulare melania (Selys)

個体数は多くはないが「水鳥の池E」(Y24)で枯れヨシに停止する2、「水鳥の池F」(Y25)では連結飛翔やイネ科の挺水植物に停止する数組が見られ、産卵も見られた。

ナツアカネ

Sympetrum darwinianum (Selys)

施設内で見られた個体数は前回より少なかった。「水鳥の池D」(Y23)園路沿いの枝先に停止する3頭、「ほたるの里」西奥の枯れヨシに停止する1頭が見られた。何れも未成熟の個体。

ミヤマアカネ

Sympetrum pedemontanum elatum (Selys)

施設内の湿地では半成熟の1しか見られなかったが、管理棟からの入り口東側の草地(M2,M3)で7頭が見られた。は僅かに赤化していた。

ウスバキトンボ

Pantala flavescens (Fabricius)

管理棟近くの草原(M3)で群翔するのが見られた。

その他

・近くの田圃でシオカラトンボ羽化殻多数、カトリヤンマ、ナツアカネ羽化殻採取、ミヤマアカネ1頭

セミ

・アブラゼミ、ミンミンゼミ(多い)、ツクツクボウシ(多い)、ヒグラシ(少ない)

草木

・ミズヒキ、キンミズヒキ、キツリフネ、ヒオウギ

9月23日(日・祝) 12時30分～16時00分 快晴 23

先週の金曜日(9/21)から前線が南下し急に気温が下がり、昨日は11月初旬の気温となった。今日も気温は低いものの陽射しはまだ強く、陽の当たる場所では暑かった。施設内は成熟したナツアカネが各所で多数見られ優占種となっている。

オニヤンマ

Anotogaster sieboldii (Selys)

悠然と施設内の流水上や各所を飛翔する 2~3が見られた。「ガマの湿地」(Y26)から「水鳥の池F」(Y25)への水路で産卵する 1が見られた。

カトリヤンマ

Gynacantha japonica Bartenef

「アサザの池」(Y8)南側の林縁付近を探索飛翔する1頭が見られた。

ルリボシヤンマ

Aeshna juncea (Linnaeus)

「水鳥の池B」(Y20)南寄りの草の生えた場所(浅く水が溜まっている)でマコモの水面下の茎に単独産卵する 1が見られたが、短時間で翔び去った。

シオカラトンボ

Orthetrum albistylum speciosum (Uhler)

前回からほぼ1ヶ月で急激に個体数は減少した。「春の池」(Y2)、「アサザの池」(Y8)、「中央湿地」(Y14)で 1~2、「水鳥の池F」(Y26)では 6程が見られ1組の交尾・産卵も見られた。

ナツアカネ

Sympetrum darwinianum (Selys)

施設内の最優占種で各所の池のフトイやミクリ、マコモに停止、また池周辺の小枝の先端にも成熟した多数が混じって停止しているのが見られた。

マユタテアカネ

Sympetrum eroticum eroticum (Selys)

「マコモの湿地」(Y7)で 1、「春の池」(Y2)のミクリの葉に停止する 1、「水鳥の池B」(Y20)南よりで 1、「水鳥の池D」(Y23)北東隅の草葉や小木の葉上に 2、「ほたるの里」入り口付近(Y29)の木道上で 1(ツマ黒型)が見られた。

ヒメアカネ

Sympetrum parvulum (Bartenef)

「ほたるの里」(Y33)西奥の「獣の森」の草地で 1が見られた。個体数は少ない。

ミヤマアカネ

Sympetrum pedemontanum elatum (Selys)

前回に見られた中央入り口東側(M2, M3)の草地では

1のみが見られた。施設内では「春の池」(Y2)、「ガマの湿地」(Y26)で 各1が見られ個体数は多くない。

ノシメトンボ

Sympetrum infuscatum (Selys)

「春の池」(Y2)のフトイに停止している 1が見られたが、短時間であった。

草木

・ゲンノショウコの花が各所で多数咲いていた。

セミ

・ミンミンゼミ(少ない)、ツクツクボウシ(少ない)鳴き方に力がない。

11月4日(日) 11時30分~15時30分 晴~曇 20

前回から1か月半ほど経ち、すっかり秋色濃くなりモミジの葉も一部やケヤキは紅葉している。トンボも個体数は少なく探さないと見つからない状況であった。見られた種も3種で少ない。陽当たりのよい場所で見られた。

オオアオイトトンボ

Lestes temporalis Selys

個体数は多くはなかったが毎年見られる場所で見られたが、薬草園のコンクリート池(M4)周辺では見られなかった。池縁のカツラが枯れ気味の状態のためか? 「アサザの池」北東寄り(Y9)のミクリ、カンガレイの繁茂している場所で 2、「水鳥の池F」(Y25の池)北縁のアズマネザサ、コナラの枝葉に停止する 2、「ほたるの里」入り口(Y29)北側林縁付近のネムノキの枝先に停止する 2が見られた。「春の池」(Y2)付近では見られなかった。

ナツアカネ

Sympetrum darwinianum (Selys)

個体数は極僅かで「春の池」(Y2)西縁付近のミクリに停止する 1、「水鳥の池E,F」(Y25の池)間の畦の枯れススキに停止する 1、「水鳥の池E」(Y25東側の池)枯れヨシの先端に停止、摂食行動する 1が見られた。

マユタテアカネ

Sympetrum eroticum eroticum (Selys)

「春の池」の北縁(Y3)の杭などに停止する 1、同池の南西縁の紅葉した落葉に停止、摂食行動する 1、

「アサザの池」(Y9)の観察路(スノコ)に停止する 1、「水鳥の池E,F」(Y25)間の北寄りの畦のフキの葉上に停止する 1が見られた。今年は前回の観察でも良く見られた。

「水鳥の池D」にカワセミ飛来。

11月23日(木・祝) 11時30分～15時00分 快晴
22 19

錦秋真っ盛りでセンターのモミジも鮮やかに紅葉していた。トンボもほとんど終息に近く個体数も僅かであった。

オオアオイトトンボ

Lestes temporalis Selys

「春の池」(Y3)カツラの枝に停止し、交尾・産卵する2組と 2頭が見られた。14時30分後には姿が見ら

れなかった。前回見られた他の場所を探したが確認出来なかった。

マユタテアカネ

Sympetrum eroticum eroticum (Selys)

「春の池」(Y3)で連結して飛翔やコウホネの葉上に停止する1組が見られた。

その他

「中央湿地」(Y11)から「アサザの池」(Y8)方向に翔び去ったヤンマを目撃したが種は特定できなかった。飛翔の仕方から推測するとオニヤンマのようであった。

施設内のモミジ、イチョウは完全に色づき素晴らしい。コナラもほぼ黄葉している。

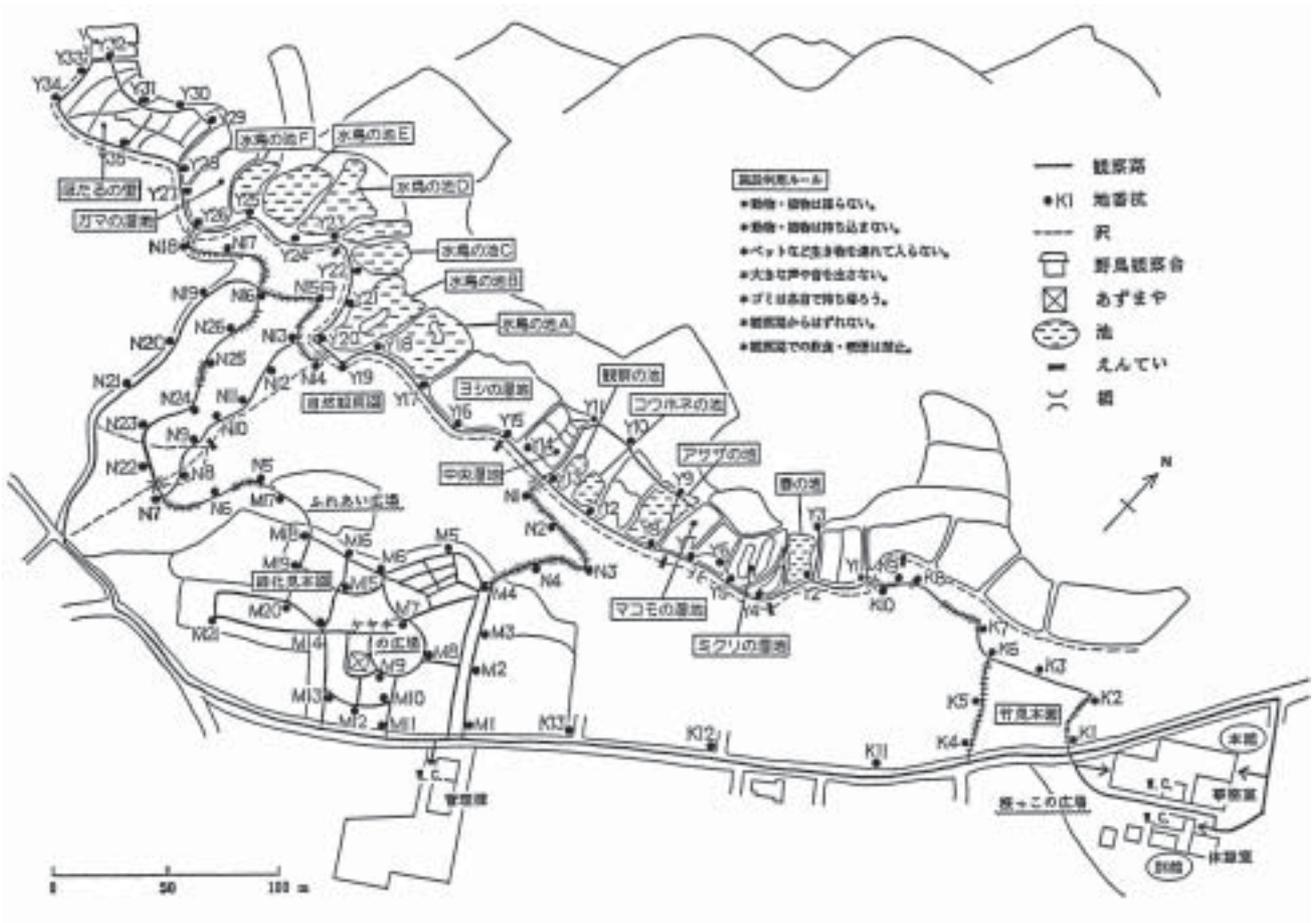


図1 県立自然保護センター野外施設マップ
注：池等の名称は筆者が独自に付けたものを含む。